

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	療育センターなないろ 訪問支援with		
○保護者評価実施期間	令和 8年 3月 26日		～ 令和 8年 4月 15日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	197	(回答者数) 136
○従業者評価実施期間	令和 8年 3月 26日		～ 令和 8年 4月 15日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	41	(回答者数) 39
○訪問先施設評価実施期間	令和 8年 3月 26日		～ 令和 8年 4月 15日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象数)	75	(回答数) 52
○事業者向け自己評価表作成日	令和 8年 4月 15日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	専門職による訪問支援を実施することで、保育園、学校とは異なる視点でのアセスメントをすることができる。	専門療法士による訪問支援を実施することで、保育士、学校教諭とは異なる視点で子どもたちのアセスメントをし、多角的な見方、考え方につなげている。	保育園、学校の教育理念を崩さない中で、専門的視点でのアセスメントを実施し、共有していく。
2	専門職による訪問支援を実施することで、より専門的な評価視点、アセスメントをすることができ、必要に応じフォーマルアセスメントに繋げることができる。	必要に応じてwiscや新版K式発達検査などのフォーマルアセスメントを実施し、一貫した視点で子どもたちのことを把握できるようにしている。	専門療法士の幅を拡大させ、さまざまな視点での介入ができるようにしていく。
3	地域を限定せず、さまざまな地域への訪問支援を実施することができる。	甲州市、北杜市など、幅広い地域への訪問支援を実施している。	今後も継続して、幅広い地域への訪問支援を受け入れていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	訪問先の現場環境を考えすぎてしまうことで、遠慮がちになってしまうことがある。	保育園や学校という多忙環境に外部機関が介入することで、現場への影響が出てしまわないかという気持ちが、遠慮がちな支援になりやすいのではないかと考える。	あらかじめ、どのような実施形態が良いのかということを確認しあい、介入方法を把握していく。訪問先での困り感や、相談したいことを聞き取り、ニーズに合わせて助言していただける体制を確立していく。
2	実施人数が増えることで、日程調整をしにくい。	利用人数が増加するに伴い、日程調整できる枠が限られてしまうことも感じられる。	訪問員を増員することで、対応できるケース数を増やしていく。(R8年度は増員済み)

公表 保護者からの事業所評価の集計結果

事業所名 療育センターない 保育所等訪問支援

公表日 令和 8 年 4 月 15 日

利用児童数 197 回収数 136

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 訪問支援に使用する教具教材が整えられていますか。	51	8	2	75		
	2 プライバシーに配慮された面接室等が整えられていますか。	93	4	0	39		
	3 事業の目的が適切に説明されていると思いますか。	130	2	0	4		
	4 保育所等訪問支援の頻度や時間について、相談の上決定されていますか。	113	12	2	9		
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどもの状態に応じた支援が提供できる職員（職種や人数）体制だと思いますか。	115	7	0	14		
	6 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	127	7	0	2		
	7 こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、保育所等訪問支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	133	1	0	2		
	8 保育所等訪問支援計画（個別支援計画）には、訪問先施設や担任等の意向が盛り込まれていると思いますか。	104	12	0	20		
	9 保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の提供すべき具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	117	3	0	16		
	10 保育所等訪問支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	124	3	0	9		
	11 保育所等訪問支援を実施する際、訪問先施設に配慮した支援が行われていると思いますか。	114	5	0	16		
	12 事業所を利用する際に、運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	122	5	1	8		
	13 「保育所等訪問支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	115	8	0	13		
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	113	8	1	14		
	15 必要なときにこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状態、課題について共通理解ができていると思いますか。	127	7	0	2		
保 護 者 へ の 説 明 等	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	121	12	0	3		
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	127	5	1	3		
	18 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	117	7	0	11		
	19 こどもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	130	3	0	2		
	20 事業所は、訪問先施設からの相談等に適切に応じ、必要な助言と支援が行われていると思いますか。	115	3	0	17		
	21 保育所等訪問支援を実施した際に、訪問先施設と訪問支援の内容について話し合いが行われていると思いますか。	116	3	1	16	訪問先との情報共有を行っておりますが、適宜支援に結び付けることは出来ていない部分もあるかと思えます。十分にフィードバックを実施することで確実な支援を心がけていきます。	
	22 保育所等訪問支援を実施した際に、保護者に対して適切に共有がなされていると思いますか。	130	4	1	1		
	非 常 時 等 の 対 応	23 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	111	5	0	20	
24 個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。		130	0	1	5		
25 事業所では、緊急時の対応について訪問先施設と連携し、実践できるようにしていると思いますか。		100	8	0	27		
満 足 度	26 事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	127	3	0	6		
	27 こどもは訪問支援を嫌がっていませんか。	127	4	1	4		
	28 事業所の支援に満足していますか。	131	4	0	1		

ご意見
・まだ開始したばかりなので、まだはっきりはわかりませんが、訪問支援によって子供の状況が関係者全体で共有できればありがたいと思っています。
・まだ慣らし保育の段階でわからないことも多く、子どもも完全に慣れてきたようには感じません。時間がかかることだとは思いますが今後の関わりに期待しています。
・いつも細やかに見ていただきありがとうございます。
・訪問支援をして先生方が親自身には言いづらそうことや伝えきれなかったことを報告書で伝えてもらえてとても助かりました。ありがとうございます。
・学校での様子を知ることができ、また専門職員様のご意見や的確なアドバイスを頂けるのもとてもありがたいです。
・本当に、細かく報告してくださり、感謝しています！！毎回、返信できていませんが、本当にありがたい訪問だと思っています。これからもよろしくお願いたします。
・訪問支援の結果を小学校和と共有しているのがわからない。また、共有したことで、その結果どうなっているかなどその後のことがわからない。
・いつも寄り添っていただきありがとうございます！
.

公表

## 訪問先施設からの事業所評価の集計結果

事業所名	公表日	令和 8 年 4 月 18 日
療育センターはない 訪問支援with	利用施設数	75施設 回収数 52施設

チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
1 訪問支援員からの助言や説明は、具体的でわかりやすく、取り入れやすいものですか。	49	4	0		
2 訪問支援員の支援に対する知識・技術等に満足していますか。	49	4	0		
3 訪問支援員は質問に対して、適時・適切に回答してくれていますか。	52	1	0		
4 保育所等訪問支援を利用したことで、課題や困りごとが解消または軽減されましたか。	45	3	5		
5 事業所からの支援に満足していますか。	49	4	0		

## その他のご意見

・満足しています。

普段の様子を見ていただきながら支援の仕方についてお話をいただけてとてもよかったです。ありがとうございました。

どのような趣旨での訪問なのか、訪問支援、という言葉の意味を事前に説明していただき共通理解を持ちたかったです。学校側としては児童の学校での様子を見学しそちらの事業所での支援の仕方に活かすための訪問なのかと思っていました。連絡票で専門的な立場からのアドバイスをいただき、参考にはしますが、学校現場ではそのようにいかないことも多く少しプレッシャーに感じる先生もいるかもしれません。

学校と保護者との関係性を重視していただき、言いにくいことですが、その子にとって大事なことを、事業所は適切に伝えていただきました。そのおかげで、支援が大きく前進しました。

関わり方など助言頂き、保育をしていく上で参考になりました。ありがとうございました。

・在籍児童の療育の様子を見学できる機会があれば、参観させていただきたいです。

・児童の様々な場面の様子が見られるように 訪問曜日や訪問時刻を変えていただきたい。また学期初めと学期終わりは忙しいため訪問を避けていただきたい

・通常級及び特別支援学級で、どのような個別支援をしたらいいのか知ることができ、大変参考になった。

・授業直後にフィードバックの時間を取っていただいたことで、すぐに次の授業に生かすことができた。

今年度もお世話になりました。ご丁寧に対応いただき、ありがとうございました。

・いつも丁寧にご助言をありがとうございました。訪問期間が1ヶ月あいていないこともあり、それほど変容がなかったこともあったかと思えます。ご都合の良い日程と学校行事などが重なったことも何度かあり、日程調整に難しさを感じました。

・いつもありがとうございます。保育者や保護者の相談にいつも丁寧に対応していただけており、支えられていると感じています。これからも末長くよろしくお願いいたします。

実際に本児と関わる姿や環境を見てもらうことで、関わりや環境へのアドバイスがわかりやすく、すぐに実践することができました。また継続して来園してもらうことで前回からの実践を振り返りながら次に活かすことができました。ありがとうございました。今後もよろしくお願いいたします。

・毎月のアドバイスありがとうございます。子どもの育ちを多方面から支えていけることに感謝しています。

・訪問支援の際に保護者の方に伝えているメールの内容を幼稚園の担任にも書面にして送っていただきたいです。また、これから小学校に向けてどうしていくべきかごまめに打ち合わせができれば嬉しです。

・訪問支援を利用させていただき、その度に丁寧に対応してくださったこと、本当に感謝しています。

対象となるお子様の、園の環境の中での姿の見とり方について、教員にはない新たな視点に気付かせてもらうことも多く、子どもの見方も広く深くっていったと思います。

対応に困っていた際に訪問していただき、話を聞いてもらえたことで気持ちが楽になった。一方で、具体的な対応方法についてもう少し踏み込んだ助言があると、より現場で活かしやすかったと感じた。

・専門的なことがわからないときでも質問するとすぐ回答していただいたので指導する際参考となりよかったです。

・いつもありがとうございます。相談しやすく、たいへん心強いです。今後とも、よろしくお願いいたします。

・最後の方は協力できなくて申し訳ありませんでした。今後の対応は話し合いを進めながら子どもたちのために生かしていただきたいです。

・なないうさんへ関係者会議に参加できたことで施設の様子を少しでも知ることができ、良かったです。

・対象の児童について真剣に考える姿をみて自分も頑張りなれないという気持ちになりました。

・生徒にとっては、知り合いに見てもらってやる気が出たと思います。私が授業を担当するときは少しでも生徒の良いところを見せられるように心がけました。その一方で、生徒が持ち物を忘れてしまうことがあったようでこちらの支援不足でした。今後もなないうさんと連携をして生徒のために取り組んでいきたいです。令和7年度では訪問支援をして頂きありがとうございました。

限られた時間の中で、子どもの様子を細かく見て、専門的な立場から支援方法のアドバイスをいただきました。難しいものではなく、すぐに実践できるようなアドバイスがいただけて、良かったです。

・訪問員の方が、話しやすく、相談しやすかったです。1年間、ありがとうございました。

・いつも丁寧に対応いただきありがとうございました。助言いただくことで子どもの課題が明確になり、スモールステップで目標を設定しながら支援や指導をすることができました。まだ課題はありますが、この一年でとても成長が見られたことを嬉しく思っています。お世話になり、ありがとうございました。

児童の現状や指導の課題点等を確認することができました。課題に関しては、的確に指導助言をしていただき大変ありがたかったです。児童の成長の様子を共に喜びあうことができました。

・毎回丁寧な対応をしていただき、とてもありがたかったです。なないうさんの様子を細かく教えてくれたり、こちらが心配や不安に思うことについて適切なアドバイスをいただけて、とても心強かったです。

・これからも、家庭となないうと保育園がうまく連携して園児によりよい支援がしていけるように頑張りたいと思います。

・毎月の訪問支援で、お互いの情報共有をしたり、課題について丁寧なアドバイスをいただき、とても参考になりました。子ども達のために、日々の保育の中で様々な工夫をすることができました。保護者対応についても、連携しながら三者会議やケース会議を開けたことを心より感謝しています。園内だけでは解決できないことも、訪問支援を通して改善策を考えることができました。本当にありがとうございました。来年度も引き続きどうぞよろしくお願いいたします。

・児童の情緒的な安定に、保護者の考えや身の状況などが非常に影響するので、保護者の状況を共有できたことは大変ありがたかったです。

・適切なアドバイスをいただいたり、対応を連携したりしていくことで、児童の成長につなげることができました。

## ご意見を踏まえた対応

今年度もたくさんのご意見、ご感想ありがとうございました。保育園や学校という大変忙しい現場の中で、訪問支援を理解し、受け入れていただいたことを心から感謝しております。それぞれの異なる環境で過ごす子どもたちに対して、訪問支援を通して直接的に関わることができたことは、非常に多角的な視点で子どもたちを捉えることができる時間となりました。先生方のお忙しい現場の中で、お話を時間をいただくことに、遠慮がちになり過ぎてしまっていたこともあったと思っております。ぜひ先生方の方からも、連携の関わり方などのご意見をいただけるとありがたいです。来年度に関しても保育園、学校と、どのような連携方法がニーズなのかなどを踏まえながら紹介させていただきたいと思っております。

学校や幼稚園などで先生方が支援をしていただいている部分に関してご家庭にも伝えていくということも大切な支援であると思っております。子どもたちへの支援体制と一緒に考えながら、より良い支援へと繋げていきたいです。また、「療育側でできること」という視点も大切にしながら、双方でできることを意識しながら、情報の共有をしていきたいと思っております。

保育園、学校は、他のお子さんも多くいる環境です。その中で外部機関であるなないうの支援を受け入れていただいているということを私たち自身も理解し、感謝の気持ちを忘れず支援に繋げていきたいと思っております。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		療育センターないる 保育所等訪問支援		公表日		令和 8 年 4 月 15 日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと 思われる点など	課題や改善すべき点	
環 境 制 整 運 営 ・ 体	1	訪問支援に使用する場合の教具教材は適切であるか。	○				
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	○			訪問する事業所数が増えているため、適宜訪問する職員を調整する必要がある。	
業 務 改 善	3	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○				
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○				
	5	従業員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○				
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	○				
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○				
適 切 な 支 援 の 提 供	8	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	○				
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○				
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	○				
	11	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○				
	12	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○				
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	○				
	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○				
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○				
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○				
	17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。	○				

	18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか。	○			
	19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○			
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○			
	21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○			
	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○			
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	○			
	24	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	○			
	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○			
保護者等への説明等	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○			
	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○			
	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	○			
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○			
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	○			
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	○			
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○			
	33	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○			
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○			
	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○			
	36	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○			

訪問先施設への説明等	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	○			
	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	○			
	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	○			
	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○			
	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	○			
非常時等の対応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○			
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○			
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○			ヒヤリハットの提出は行えているが、園全体としての共有、対策については今後の課題となる部分もある。
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○			
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○			